

2015年尿路結石全国疫学調査

前略

わが国の尿路結石の疫学調査は、1965年から10年毎に、京都大学泌尿器科学教室を中心として行われてきました。そして2005年の疫学調査は、京都大学泌尿器科学教室のご協力を得、日本泌尿器科学会の承認のもとに、日本尿路結石症学会が中心となり施行させていただきました。それらの成果は、世界的にも類を見ないもので高く評価され、尿路結石の診療と行政に活用されています。前回の調査から10年目にあたる2015年の疫学調査は、日本泌尿器科学会の承認のもとに、日本尿路結石症学会が継続して行うことになりました。

本調査につきましては、金沢医科大学（平成26年10月20日付け承認）、大阪市立大学大学院医学研究科（平成26年10月28日付け承認）、千葉大学大学院医学研究院（平成26年12月2日付け承認）における倫理委員会において承認を受けております。

わが国の尿路結石の実態をできる限り正確に把握するためにも、またこれまでの貴重な調査内容を継承するためにも、ご参加をお願い申し上げます。

草々

疫学調査の概要

調査期間 2015年1月～12月の1年間

調査内容 従来までの調査と同様に2つの方法で行っております。

1. 各医療機関における尿路結石患者の実数調査
2. 患者個人調査

日本尿路結石症学会
理事長 市川 智彦
全国疫学調査委員長 宮澤 克人

2015年尿路結石全国疫学調査 事務局
千葉大学大学院医学研究院 泌尿器科学
TEL：043（226）2134
FAX：043（226）2136